

No 3	活動名	火おこし体験					
活動の概要		古代の発火法を体験する。 (マイギリ式火おこし)					
ねらい	規律	友情	協同	奉仕	自然		
	—	◎	○	—	○		
活動形態	☐ 自主活動 (各団体での活動) ☒ 指導依頼活動 (指導員の説明、指導が入る活動)						
時期	4月～11月		時間帯	日中		対象	小学生～
場所	大テント キャビン下		人数	4人～		所要時間	約1h～2h
準備物	各団体			県南青少年の家			
	軍手、ろうそく、救急用具			ヒキリ棒、ヒキリ板、火口(ほくち)、新聞紙、トイレ ットペーパー、(ろうそく台)			
活動展開例							
研修生の動き		団体引率者の動き			指導員の動き		
・グループ内で、体験活動の順番を決める。		・火おこし体験のグループを作る。 ・グループ内で体験活動の順番を決めさせる。			・道具や説明の準備をする。		
・新聞紙スプーンの作り方の説明を聞く。 ・新聞紙スプーンを作る。		・新聞紙スプーンの作り方の説明を聞かせ、制作支援をする。			・新聞紙スプーンの作り方を説明する。		
・火おこしの説明を聞く。 ・必要な道具を受け取る。		・火おこしの説明を聞かせる。			・火おこしの説明をする。 ・必要な道具を配布する。		
・火おこし体験をする。		・必要に応じて火おこし体験の支援をする。 ・うまく火がついたグループには、ろうそく等でとっておかせるようにする。			・必要に応じて火おこし体験の支援をする。		
留意点		・やけどをしないように十分注意させてください。					
備考		※料金などの詳細は“利用のてびき”をご覧ください。					